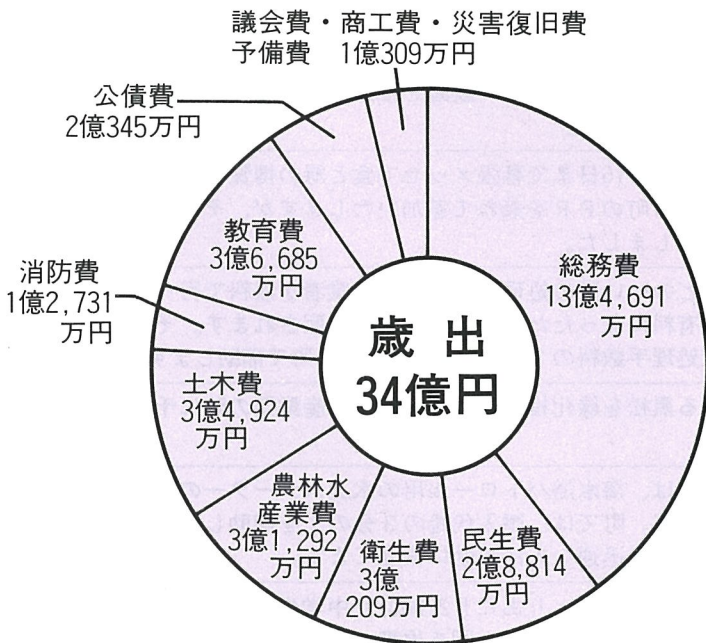
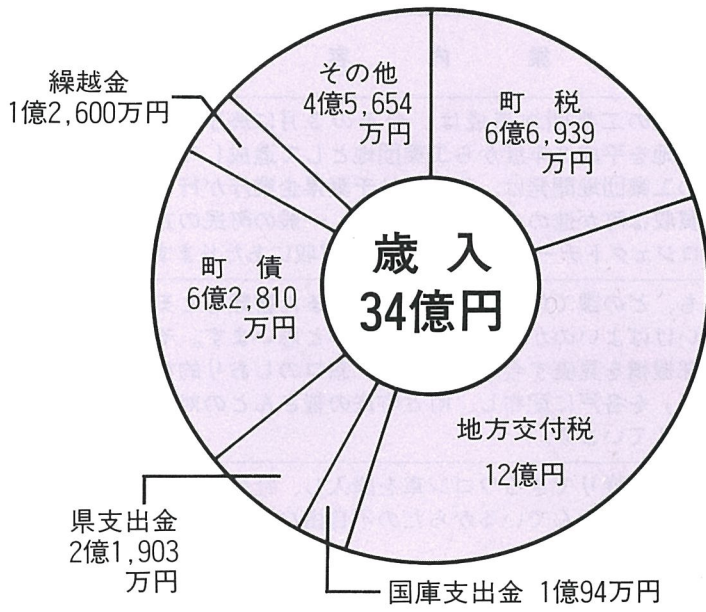


一般会計の予算



特別会計の予算

区分	平成2年度	平成元年度	増減率 (%)
国民健康保険	7億4,000万円	7億5,200万円	△ 1.6
老人保健	4億8,035万円	4億7,774万円	0.5
食肉センター	2億2,030万円	2億0,720万円	6.3
一般会計・特別会計・合計	48億4,065万円	42億1,094万円	15.0

具体的には、産業基盤の確立、福祉・保健衛生の充実、教育の充実を3本の大きな柱とし、更に行政改革の推進を念頭に置き、予算を編成しました。

それでは、予算の中の事業を紹介していただけますか。

町長 予算計上した事業は、いずれも重要な事業ですが、特に、目玉的な事業をお話します。

投資的な事業としては、光スポーツ公園施設整備事業、小田部地区の道路改良事業、あけぼの橋延伸の農道整備事業、宝米台地の農道整備事業、光スクールライン整備事業などです。

投資的事業以外では、福祉カーの購入、小・中学校基準図書を購入、婦人の翼事業などを予算計上しました。

今、ブームを呼んでいる「ふるさと創生」については、どのように取り扱ったのでしょうか。

町長 昭和63年度と平成元年度に交付された1億円は、「ひかりまち、ふるさと構想」をテーマに「まちづくり、ひとづくり」のための各種事業に使いました。具体的には、秋冬ねぎ価格安定事業、直営舗装事業、小・中学校パソコン導入事業などです。

更に、今年度から向こう3

年間、ふるさと創生推進事業は継続される見込みです。さて、使いみちですが、ふるさと事業の趣旨を十分に尊重し、有効活用を真剣に考えていかなければならないと思います。目先のことに捉われず、夢をはぐくめるようなこれからの町づくりに大きな弾みになるような魅力ある事業を展開したいと思っています。

このように、4月から執行する2年度予算の積算は、昨年の11月末を基本として行っているため、年度途中で事業費の変更が生じ、補正予算を組まなければならない可能性があります。

3月
 3/7 議会の3月定例会で
 予算成立
 3/16 議会の全員協議会
 予算内容について
 説明を行います。